



学校教育目標：未来を切り拓くべく、夢に向かって挑戦し、心豊かでたくましい児童の育成
～すべては子供達のために～

学校評価のためのアンケート結果をお知らせします



9月に実施した「前期教育活動改善のためのアンケート」では、ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

いただきましたご意見・ご要望は教職員全体で共有し、今後の学校運営および教育活動の改善に活かしてまいります。各項目について学校としての回答・考え方を以下のとおりまとめましたのでご報告いたします。

今後とも、よろしくお願いいたします。

(結果は4段階で「1：そう思う」「2：ややそう思う」の合計の数値を示しております。また、参考として、昨年度後期のアンケートの割合を記入しました。)

1 児童アンケートの結果

	質 問 事 項	R8 前期%	R7 後期%
1	「笑顔(えがお)」いっぱい生活しています。	89.0	
2	勉強は楽しくできています。	89.4	
3	「津田小のよい子」(生活のきまり)を守って生活しています。	91.8	90.5
4	先生の授業(じゅぎょう)は、わかりやすいです。	95.7	
5	タブレットやパソコン、大画面(テレビ・スクリーン)を使った授業(じゅぎょう)の方が分かりやすく進んで学習できます。	91.6	91.1
6	道徳(どうとく)の授業など、自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりして、話し合う活動に参加しています。	86.0	86.0
7	学校では、安全(あんぜん)に、そして健康(けんこう)にすごしています。	94.8	
8	学校の様子(授業や行事、毎日の生活など)は、家の人によく伝わっていると思います。	91.2	
9	困(こま)ったことや心配(しんぱい)なことがあるとき、先生や家(いえ)の人に相談(そうだん)しています。	85.5	
10	学校の行事(ぎょうじ)やイベントで、地域(ちいき)の人や家(いえ)の人と一緒に楽しく活動しています。	94.3	
11	家(いえ)での宿題(しゅくだい)や自主学習(じしゅがくしゅう)を、毎日(まいにち)進んでやっています。	87.4	
12	先生や友達(ともだち)、地域(ちいき)の人に、自分から進んであいさつをしています。	83.7	87.2
13	登下校(とうげこう)や遊びにいくとき、車や自転車に気をつけて、交通ルールをまもっています。	96.7	
14	家(いえ)の人と、学校での出来事(勉強、友達、楽しかったことなど)について話しています。	91.9	89.9
15	友達(ともだち)の気持ち(きもち)を考えて、やさしい言葉づかいをし、相手を傷つける言葉を使わないようにしています。	92.8	83.8
16	毎日(まいにち)朝ごはんをしっかり食べてから、元気に学校に来ています。	93.4	93.3
17	体力がついてきたと感じます。	86.5	
18	本をたくさん読んでいます。	71.9	
19	学習のめあてが分かって学んでいます。	91.4	91.6

20	将来への夢があります。	89.9	88.3
----	-------------	------	------

学習面では、授業のめあてや内容が分かって取り組んでいると実感している児童が90%以上でした。また、タブレットを使うことで学習が分かりやすくなり、意欲的に取り組めると回答した児童数もとても多かったです。生活面においては、安全に健康的に過ごすこと、友達の気持ちを考えて言葉づかいをすることの数値が高く、ご家庭のご理解ご協力をとても感じます。今後は、読書の推進に取り組んでまいります。

2 保護者アンケートの結果

	質 問 事 項	R8 前期%	R7 後期%
1	お子さんは、「笑顔」で生活している。	97.8	
2	お子さんは、楽しく学習に取り組んでいると感じる。	85.8	
3	お子さんは、学校のきまりを守って生活していると感じる。	95.6	
4	学校は、わかる授業づくりに努めている。	96.0	95.6
5	学校は、ICTを活用した授業を行っている。	98.3	98.1
6	学校は、道徳の授業や交流活動等を通して、心の教育に努めている。	95.1	97.0
7	学校は、児童の安全確保や健康管理に努めている。	96.0	95.6
8	学校は、児童の学習や生活の様子について、情報発信に努めている。	90.2	92.3
9	学校は、児童の学校生活について相談しやすい環境づくりに努めている。	94.2	90.8
10	学校は、行事等を通して、家庭、地域と連携している。	93.7	96.1
11	お子さんは、家庭学習をよくやっている。	68.4	64.4
12	お子さんは、あいさつができています。	81.8	80.7
13	お子さんは、交通安全に心がけている。	96.0	96.7
14	家でお子さんと学校の話をしている。	93.4	95.7
15	お子さんは、人権意識を尊重し、適切な言葉遣いをしている。	83.5	82.6
16	お子さんは、朝食をとってから通学している。	97.8	97.1
17	お子さんは、体力が身に付いていると感じる。	85.3	
18	お子さんは、本に関心をもち、本をたくさん読んでいますと感じる。	52.5	
19	学校は、お子さんの興味・関心を高め、個に応じた指導がなされていると感じる。	87.1	

(保護者アンケートの結果より)

読書や家庭学習、あいさつ、適切な言葉遣い、体力においては、習慣づくりが大事だと考えます。保護者の皆様のご協力をいただきながら、少しずつ継続していけるような環境を整えてまいります。

3 保護者アンケートの主な記述とアンケートを受けての改善策等について掲載いたします。(重複する内容等は、整理してまとめてあります。)

<p>教育活動改善のためのアンケート(前期) (保護者回答)</p> <p>Q 学校をよりよくしていくためには、どのようなことが大事だと考えますか。</p>
--

<あいさつについて>

- ・あいさつしない子が多いので、指導をもっとしてほしい。
- ・とにかく、元気に人の目を見て挨拶をする。

→ あいさつは人間関係づくりの基本であり、社会性を育むうえでもとても重要な取り組みと捉えております。学校でも、登校時や授業の前後において「相手を見て進んで自分から元気にあいさつをする」ことの指導を継続してまいります。

<学校の様子発信について>

- ・教室での様子などを可能であれば写真などで見るのができればと思う。
- ・ホームページの学校日記の更新が良くされていて評判がいい。これに毎日の給食をアップしてくれたら嬉しい。
- ・お便りの写真、「せめてピンボケ程度にしたらいいいのに」、と思っている。
- ・子供が学校のことを話さなければ、何があったのかを知らないという親は多い。

- ・ 学校が思っているほど、学校の情報は家庭に入ってきていない。今回のアンケートでも、実態がわからないので回答に困る質問が多い。たぶん、という感覚でしか回答していない。子供が学校のことを話さなければ、何があったのかを知らないという親は多い。
- 学校での子供たちの様子や教育活動の実態が保護者の皆様へ十分に届いていなかった点について、真摯に受け止めております。ホームページの積極的な更新に努めるとともに、写真掲載や各種プリント、お便りにおける写真の見やすさ・解像度の改善について、個人情報の取扱等に十分配慮しながら工夫・検討いたします。ご家庭へ分かりやすく情報が届くように、改善してまいります。

<コミュニケーションについて>

- ・ より声がけなどしていく。
- ・ 学校と家庭との連携が大切と考える。
- ・ 先生とのコミュニケーション、保護者とのコミュニケーションをたくさんとる。(先生達と相談できる環境や情報共有)
- 子供たちの健やかな成長には、学校と家庭との密接な連携・相談体制が不可欠です。教職員からのお声がけや電話連絡などを継続して行うとともに、保護者の皆様が不安や気になることをいつでも気兼ねなくご相談いただけるよう、H&Sの活用や面談の機会の充実など、風通しのよいコミュニケーションの環境づくりに努めます。

<個性の尊重について>

- ・ 一人一人の個性を大事にすること。子どもの自主性を高めてほしい。柔軟性をもって対応願いたい。
- ・ 一人ひとり、学び方や過ごし方、心地よく感じる環境は違うということを、子どもたちに知ってほしいと思う。学校へ行く・行かないということだけで判断するのではなく、多様な選択肢やそれぞれの違いを認め合い、お互いを尊重できるような教育を大切にしていただけると嬉しい。
- ・ 一人一人の個性も大事ですが日本の教育は画一性があるからこそ、災害時に秩序が保たれるのだとも思う。
- 個性や多様性を尊重し、誰もが安心して過ごせる環境づくりと、集団生活の中で配慮や規則を守る規律性の双方をバランスよく育むことが重要だと考えております。子供たちがお互いの違いを認め合い、主体的に学習や生活に取り組めるよう、柔軟かつきめ細やかな指導・支援を今後も進めてまいります。

<教科担任制等について>

- ・ 教科担任制や少人数クラスの導入など、中学年頃から、一人の担任の先生が一年間見るのではなく、いろいろな先生でその学年を見守ることも先生方にとっても子供達にとってもプラスになるのではないかなと思う。
- 本校ではすでに、高学年で教科の一部に教科担任制を取り入れております。また、音楽では全学年とも音楽専科教師による指導を、算数では1・6年で少人数指導を、国語の書写では3～6年生で教務主任による授業を行っております。今後も、学年の状況や県等の教員配置の枠組みを踏まえつつ、可能な形での導入・拡充について要望も含め検討してまいります。

<学習環境の改善について>

- ・ 教師と生徒が何でも話しやすい適切な距離感の環境づくり
- ・ 1年生の教室は児童数が多く、教室内が窮屈に感じる。教室の広さや学級編制について、現状に合った見直しを検討してほしいと思う。現在の国の基準と実際の学校現場の状況が合っていないのではないかと感じる。教室が窮屈なことで、子どもたちが不便やストレスを感じたり、落ち着いて学習することが難しくなったりするのではないかと心配だ。また、地震や火災などの災害時に安全かつ迅速に避難できるのか、感染症が流行した際に一気に感染が広がってしまわないかという不安もある。
- ・ 校舎の古さが気になる。トイレなどだけでもリフォームなどで清潔にしてほしい。
- 学級編制や教室配置につきましては、国や県等の設置基準をもとに運用しておりますが、安全面や衛生面でのご懸念につきましては重く受け止めております。避難経路の確保や感染症対策を徹底するとともに、老朽化箇所の改修や環境改善については、市教育委員会とも連携等をして、安心安全で快適な学習環境の確保に努めてまいります。

<夏休みの課題について>

・夏休みの必須課題が多く、子どもが自分で興味を持ったことに取り組む時間が十分に確保できないように感じる。特に低学年では保護者のサポートも必要な課題が多く、フルタイムで働く家庭にとっては、宿題に取り組む時間を確保することに負担を感じる。また、6年生の課題量や、中学受験をする児童への負担も気になる。そこで、夏休みの1か月ほど前から、子ども自身が苦手分野や興味・関心のあることを考え、先生や家庭と相談しながら、それぞれが取り組む課題を決めるような仕組みがあるとよいと思う。

→ 夏休みの課題量や内容がご家庭の大きな負担となっていた点について、見直しを図ってまいります。今後は、子供たちが自ら問いを設定し自主的に学べる探究型の課題やICTの活用等も含め、ご家庭の状況に応じて選択できる課題の導入など、児童の興味・関心や学年に応じた負担感に配慮した課題設定を検討してまいります。

<職員の対応について>

・先生は一生懸命に子供達をみてくれていると思う。子供達自身が自律心を高める方法を探っていききたい。

・いつも子供たちのために先生方ご尽力いただきありがたい。

・今まででも十分に子どもたちの事を考えて下さっていると思う。いつもご尽力いただきありがたい。

・外部に頼めるものは外部にお願いすることで、先生方の負担を減らしゆとりをもった指導ができ、結果的にいい学校になっていくのではないかと考える。

・個人的には、まずは先生方が笑顔でいられる職場環境であることが大事かなと思う。
子供達のカウンセラーの方以外にも、先生方のカウンセラーや相談員等、既に配置されているのかもしれないが、そういった所にも市や県、国でバックアップが必要かなと思う。

・授業間のメリハリ、朝の会帰りの会など全員で話を聞く体制が取れるように先生方の関わり方を変えていく欲しい。

・授業の妨げになる児童の親に対して、事実をしっかりと伝えるべきだと思う。

・いじめにつながる言動をしている子には、その言動はいい事なのか悪い事なのかを早めに考えさせた方がよいと思う。

・先生達と相談できる環境や情報共有。

→ 温かいお言葉もいただき感謝申し上げます。授業中のメリハリや望ましい生活態度の定着、いじめやトラブルへの迅速・確実な初期対応については、全教職員で徹底してまいります。また、外部人材の活用、関係機関との連携を進め、教職員がゆとりをもって児童と向き合える環境整備に努めます。

<大人としての行動について>

・一人一人が思いやりの気持ちを持って行動をする。声かけをする。

・子供の自主性を高めること。

・保護者の協力と理解。

→ 子供たちの健やかな育成には、学校・ご家庭・地域が一体となった温かい見守りとご協力が欠かせません。大人がよき手本となり、地域全体で子供たちの主体性や思いやりの心を育ていけるよう、今後ともご理解ご協力をお願いいたします。

<引き渡し時等の駐車場の流れについて>

・大雨などで迎えが必要になったときのお迎え方法はきちんと考えるべき。ほとんどが車で迎えに行っている。校外での道の渋滞は近隣に迷惑をかけている。校内に入る時の方向から決めるべき。どうしたらいいかのアイデアを保護者からのアンケートをとれば、待機側、迎えに行く側双方の意見で良いルールができると思う。

・引き渡し時の駐車場の流れが改善され、良くなったと思う。地図で分かりやすく案内されていてよかった。

・駐車場の進行方向を決めてほしい。一方通行にしてもらい、手前の空いている場所からとめる方式にしてもらいたい。反対側からきた車と接触しそうなことがあったことがある。もし、子供が駐車場内を歩いても、車の動くが同じならば回避しやすいのではないかなと思う。

→ 迅速な引き渡しへのご協力ならびに具体的な改善のご提案をいただき、ありがとうございます。近隣住民の方々への配慮や児童の安全確保は最優先課題です。頂いた「一方通行化」や「進行方向の明記」などのご意見を参考に、よりスムーズで安全な引き渡し手順・地図の改訂を検討いたします。

<登校班について>

・登校班の管理体制を、子供会から学校主導へ移行を検討していただきたい。

(登校班は児童の入学前健診や説明会のタイミングを利用して班編成は可能ではないかと思う。転出入や学区外通学など、児童の正確な情報は学校が早く把握するが、子供会まで情報が流れてくるまでにはタイムラグもある。過去には、学校側の管理の都合で、学区外通学の児童をどこかしの登校班に所属させる必要があるとのことで、その児童の所属班を巡り、子供会役員が判断に迷い苦慮するケースもあった。また、現在は子供会が登校班を管理しているものの、子供会には加入せず、登校班だけの利用を選択されているご家庭もあり、円滑な情報収集ができなくなっている。

児童の安全管理と個人情報保護の観点からも、情報の一元管理は学校が行い、PTA や、校外役員、子ども会などと連携を取り、持続可能な体制への見直しを検討いただきたい。)

→ 登校班の編制や運営においては、子供会の皆様に多大なご負担をおかけしている現状を認識しており、9月18日(金)に本校で開催されました学校運営協議会においても、協議内容の一つに挙げさせていただきました。その時に、市内の他校様で登校班がない学校もあるが、児童は安全に登校できているとの声も上がりました。また、文部科学省からは、教師が本来の業務に専念できるように「学校・教師が担う業務に係る3分類」が出され、その一つに「学校以外が担うべき業務」(A)があります。「登校時の通学路における日常的な見守り活動等」は、前記(A)の中に入っております。よって、「自由登校という考え方も視野に入れて検討してみても」とのご提案も頂きました。PTA役員や保護者の皆様とともに検討してまいりたいと存じます。

<PTA 主催の親子レクについて>

- ・授業時間を削ってまで実施する必要があるのか改めて検討していただきたい。もし学校と保護者との交流に授業時間を活用するのであれば、親子で学校や地域の清掃活動を行うなど、費用をかけず、参加できる保護者が無理なく参加できる活動の方が、教育的な意義もあり、先生方やPTA役員の負担軽減にもつながるのではないかと考える。
- 親子レク等について、教育的意義や授業時間の確保、保護者・役員皆様の負担感などの視点からご意見を頂き、ありがとうございます。PTA役員とも協議を行い、負担感が少なく多くのご家庭が参加しやすい活動形態や実施時間の見直しについて検討してまいります。

※保護者アンケートへのご協力、ならびに温かいご意見や貴重なご指摘をいただき、誠にありがとうございました。今後とも、本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。